



県民みんなでつくる文化・芸術の祭典
23RD TOTTORI ART AND CULTURE FESTIVAL
TORI ART 2025
Fun! Fun! Art!

主催：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県

特別後援：新日本海新聞社、鳥取県ケーブルテレビ協議会

後援：鳥取県教育委員会、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

アートを通して
最高に楽しい
ワクワクを！

県民みんなで作る文化・芸術の祭典

23RD TOTTORI ART AND CULTURE FESTIVAL TORI ART 2025

とりアート2025開催テーマ

Fun! Fun! アート!

はじめに

第23回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2025は、皆さまのお力添えにより、今年も無事に幕を閉じることができました。ご来場、ご参加いただいた皆さま、そしてとりアートを支えてくださったすべての皆さまに、心よりお礼申し上げます。

鳥取県総合芸術文化祭(愛称:とりアート)は、平成14年に本県で開催された国民文化祭を契機に、県民の皆さまが文化芸術に親しみ、理解を深め、自ら表現する喜びを育む場として歩みを続けてきました。23回目を迎えたとりアートは、「FUN! FUN! アート!」をテーマに掲げ、アートを通して最高に楽しいワクワクを届けたいという思いを胸に、県内各地でさまざまな事業を展開しました。テーマには、アートに触れることで生まれる新しい発見やアイデア、価値観を超えた出会い、そのたびに湧き上がるワクワクを大切にしたいという願いを込めています。参加してみたからこそ見える景色を、より多くの皆さまと共有したい——そんな思いを胸に、県内のダンサーや踊ってみたいと参加して下さった多くの方々と共に創り上げたダンスパフォーマンスから、思いきり“エンゲキ”で遊ぶ体験とより深める鑑賞付き演劇ワークショップ、“能って難しい”の先にある楽しいを発見する能の体験と鑑賞、みんなで作った動物たちが動き出す魔法のような音と光のコンサート、未来に羽ばたくアーティストの作品展示と、多彩なプログラムを実施しました。これらの取り組みがアートをより気軽に身近な存在として感じていただくきっかけとなり、その魅力を存分に味わっていただけたなら、心から嬉しく思います。

ご来場者やワークショップの参加者、ご出演の方々、そしてイベントを支えて下さった多くの皆さまとひとつひとつの出会いがつながり、とりアートが形づくられたものと感じています。それぞれの会場では、挑戦する勇気にあふれた姿や初めての体験に目を輝かせる瞬間、驚きや感動があふれ、多くの喜びとワクワクが広がりました。“やってみたら楽しい!” “できるようになって嬉しい!” “また挑戦したい!” “参加してよかった!”——そんな声が響く瞬間に立ち会えたことは、私たち実行委員会にとって大きな励みであり、何よりの喜びです。

鳥取では、これからもたくさんのアートがきらめき続けます。“とりアート”という言葉を目にしたとき、皆さまの心に少しでもワクワクが灯るように、地域のさまざまなご縁とつながりながら、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会を広げてまいります。

県民の皆さまをはじめ、とりアートに足を運んで下さった方も、今回はご来場が叶わなかった方も、ご出演者や関係者を含めたすべての皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。本報告書には、あの日の生き生きとした表情や、心が動いた瞬間がよみがえるたくさんの写真を掲載しています。それぞれの取り組みを振り返りながら、皆さまの心に小さな“FUN!”を残せていましたら幸いです。

2026年3月 とりアート実行委員会



目次

鳥取県総合芸術文化祭・とりアートとは 4

とりアート2025について 5

企画・地域連携事業 6

次世代育成事業 16

展示事業 26

Special thanks 33



鳥取県総合芸術文化祭・とりアート

鳥取県の総合芸術文化祭として「アートが開く、創造性と活力に満ちた鳥取県」の実現にむけて、誰もが文化芸術に親しむことができる環境を整えるとともに、県内の文化芸術の活性化を図り、次代の文化芸術を担う人材を育成することを将来のビジョンに掲げ事業を展開しています。

〈目標〉

01 文化芸術活動の裾野の拡大

若年層を中心とする活動者及び鑑賞者の育成と拡大

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を目指し、県民誰もが気軽に文化芸術に触れ、親しむことができるような機会の提供を行うとともに、その充実を図ります。

02 文化芸術の質の向上

他分野やプロのアーティストとの共演を通じた能力や創造性の向上

県内の文化芸術の質の向上を図り、県民ニーズに沿った良質な作品を創造します。

03 多様な人材の育成

舞台や展示を通じた新たな人材の掘り起こしと本県の文化芸術の創造や地域への浸透を図るための取組を進める人材の育成

県内の文化芸術活動の円滑な遂行とそのレベルアップを図るため、活動者（指導者、後継者、担い手を含む）、鑑賞者、アートマネージャー、技術者、支援者等の必要な人材の育成及び育成した人材の活用を図ります。

〈取り組む事業〉

01 企画事業

活動者のレベル向上、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、ジャンルや世代を越えた交流、次世代活動者の育成のため、県域の文化活動団体及び活動者と創る舞台公演の企画実施

02 地域連携事業

地域に根ざした文化芸術の創造、裾野の拡大、地域資源の掘り起こしと再生のため、県内の文化資源を活用し、地域と連携した事業

03 次世代育成事業

将来を見据えた鑑賞者・活動者の育成、子どもたちの感動と成長の場づくりのため、発表やチャレンジの場の提供、鑑賞事業やワークショップ等

04 展示事業

新たな人材の掘り起こしと紹介、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供のため、公募等によるアーティストの作品を県内各地区で巡回展示

05 そのほか

目標の実現に資する事業

鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2025

〈開催テーマ〉

Fun! Fun! アート!

アートを通して最高の楽しいワクワクを！
自分の価値観では生まれない発見やアイデア、新しい出会い
そのたびにワクワクする気持ちを大切にしたい。
参加してみたら出会える景色を多くの皆さまと一緒に共有したい。
“やってみたら楽しい！”
“できるようになって嬉しい！”
“また挑戦してみたい！”
“とりアートに参加してよかった!!”
そんな声であふれるような最高の瞬間を目指すことを目標に掲げ
県民の皆さまとともに歩き出せるような事業を展開していきます。

とりアート2025開幕式

第23回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2025の開幕を主催者一丸となって盛り上げ、アートの魅力を広く発信する開幕式を開催いたしました。

当日は、来場者の皆さまが続々と会場に足を運ばれ、ステージでは県出身のアーティストによるオープニング演奏もあり、華やかな雰囲気の中で開幕を迎えることができました。来場者の笑顔の輪が広がり、これから始まる各事業への弾みとなる、心おどるスタートとなりました。

日時 2025年10月12日(日) 14:00～14:15

会場 エスパック未来中心 小ホール

内容

- 01 主催者あいさつ
とりアート実行委員会会長 藤井 浩基
- 02 開幕宣言
鳥取県 平井知事
- 03 オープニング演奏
演奏曲:「ボレロ」
演奏者:鳥取県出身アーティスト
[ヴァイオリン] 竹田 詩織
[ヴィオラ] 棚橋 恭子
[ピアノ] 伊藤 秀



※開幕式終了後、「音と光の動物園 動物の謝肉祭コンサート」を開催いたしました。

企画・地域連携事業

未来への扉

FUN! FUN! DANCE!

若手育成、プロとアマの共演、文化芸術活動の裾野の拡大
県内の文化資源の活用・連携



踊る楽しさ、未来への一歩に。

年齢やダンス経験の有無を問わず、県内各地から集まった人たちが一つの舞台上で踊るダンス公演。県内ダンス団体によるパフォーマンス、県民参加型のダンスステージ、ゲストダンサーのパフォーマンスなど、多彩なダンスが披露されました。フィナーレでは来場者も一緒に踊り、会場はひとつになり、笑顔あふれる中で公演を締めくくりました。

公演名	未来への扉 FUN! FUN! DANCE!
開催日時	2026年2月22日(日) 開演14:00 終演16:30
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール
入場者数	延べ700名
出演者数	延べ300名
MC	奈羅尾 玲子



THANK YOU!

高校生ボランティアの皆さんにご協力いただきました

当日の運営には、鳥取敬愛高等学校、鳥取湖陵高等学校、鳥取城北高等学校のボランティアクラブの皆様にご協力いただきました。皆様のご協力により、来場者が安心して公演を楽しめる円滑な運営を行うことができました。



第1部 | SHOWCASE

県内ダンス団体による ダンスパフォーマンス

県内のダンス団体が、本番に向けて練り上げたダンスを舞台上で披露。様々なジャンルのダンスが次々と登場し、会場はダンスの魅力あふれる時間に包まれました。



01. 倉吉北高等学校ダンス部



02. TSUKI AKARI



04. つきのこぐま



03. Batonキャンベル



05. 鳥取城北高等学校ダンス部



06. よしみんとシゲミータの情熱のフラメンコ



11. ダンススタジオD.M.K



13. リッキーダンスカンパニー



07. 鳥取湖陵高等学校ダンス部



09. SUNNYフルーツ



10. 鳥取敬愛高等学校ダンス部



12. piony



08. æ starr

第2部 | CREATION STAGE

みんなで作る
ダンスステージ

「ダンスが好き!」「ステージに立ってみたい!」それぞれの思いを胸に集まった県民が舞台に挑戦。初対面から練習をスタートし、限られた練習回数・時間の中で、ゲストダンサーの振付・指導のもとパフォーマンスを創り上げ大きな舞台で披露しました。最初は緊張した様子もありましたが、練習を重ねるごとにチームとしての一体感が高まり、メンバー同士のつながりも深まっていきました。

| CREATION STAGE 01 | もっとおどりたい! ダンスステージ

風紋 — 砂丘から未来へ —

鳥取砂丘をモチーフに、自然の躍動感や厳しさ、自然とともに生きる鳥取の人々の姿をダイナミックな踊りで表現。鳥取の波を表現した動きやソロなど見どころが随所に盛り込まれ、最初から最後まで目が離せないパフォーマンスとなりました。

- 振付・指導 上山 貴行、神谷 直樹、原 佑介
- 対象 県内のダンス経験者
- 参加者 小学生から社会人までの32名
- 練習回数 2026年1月から計8回(各回3時間)
- 練習会場 とりぎん文化会館 リハーサル室・梨花ホール
エースパック未来中心 リハーサル室・小ホール

練習の様子



ステージ本番



練習の様子



ステージ本番



| CREATION STAGE 02 |

とりアートオリジナル しゃんしゃんダンスステージ

しゃんしゃんしゃんぐりら
とりアートver.

鳥取の地域資源であるしゃんしゃん傘を使ったダンス。いかにかっこよくきれいに踊れるかをゲストダンサーから教わりながら、みんなで練習を重ねました。「ソレツ!」「ハッ!!」と元気な掛け声が響き、会場をぐっと盛り上げました。

- 振付・指導 新井風味 HIDETOMO、EBIRI-NA、ATSU
- 編曲 松本 正嗣
- 対象 県内の小学生以上の方(傘踊り未経験の方を含む)
- 参加者 小学生から社会人までの30名
- 練習回数 2025年11月から計8回(各回2時間30分)
- 練習会場 とりぎん文化会館 小ホール・梨花ホール

東部会場



西部会場



ステージ本番



CREATION STAGE 03 |

ゆるく、たのしく！
エイジレスダンスステージ

Ageless Groove

舞台に立つこと自体が初めての方も多かったエイジレスダンスステージ。3会場の参加者が集まり、全員で踊ったのは本番当日のリハーサルが初めて。それでも一体感は抜群！ゆるく、たのしく創り上げたパフォーマンスを堂々と披露しました。

- 振付・指導 ゆるダン 佐々木 啓太、伊藤 京香
- 対象 年齢やダンス経験の有無を問わず、踊ってみたい方
- 参加者 0歳から95歳までの96名(練習のみ参加した方を含む)
- 練習回数 各会場3回ずつ(各回1~2時間程度)
- 練習会場 東部会場:とりぎん文化会館 リハーサル室
中部会場:エースパック未来中心 リハーサル室・小ホール
西部会場:米子市文化ホール イベントホール



GUEST PERFORMANCE 01 | DRESS CORD:3

第3部 | GUEST PERFORMANCE

ゲストダンサーによるダンスパフォーマンス

心をつかむダンスに会場は一気に引き込まれました。「もっとダンスが上手になりたい」「自分もこんなふうに踊ってみたい」と感じた人も多かったのではないのでしょうか。



ステージ上で間近にゲストパフォーマンスを鑑賞する第2部参加者

GUEST PERFORMANCE 02 | 鳥取に恋して



振付・指導者の声



ダンサー

かみ やま たか ゆき
上山 貴行
かみ や なお き
神谷 直樹
はら ゆう すけ
原 佑介

あっという間の2ヶ月でした！

最初はお互いに緊張でいっぱいだったメンバーも、リハーサルを重ねるにつれて少しずつ打ち解け、笑顔が増えていきました。難しいステップや振付にもみんなが一生懸命向き合い、次のリハーサルではしっかりと仕上げてきてくれる。その姿に、毎回驚きと感動をもらっていました。

最初は自信がなかった動きも、練習を重ねるたびにどんどん大きくなり、ダンスの技術だけでなく、みんなの気持ちの成長も強く感じることができました。年齢も立場も違う、これまで会ったことのなかった32人のメンバー。ですが、同じ時間を過ごし、ひとつの作品に向き合うことで、少しずつ心がつながり、チームになっていくのを感じました。

僕ら3人にとっても、毎週鳥取のみんなに会えることが楽しみで仕方ない2ヶ月でした。

はじめてのことに飛び込む勇気。努力を重ねた先に味わえた達成感。

この経験が、これから先のみんなの背中を押してくれることを願っています。

振付・指導者の声



近代和風ダンスカンパニー

あら い ふう み
新井 風味

HIDETOMO
EBIRI-NA、ATSU

今回、初回りリハーサルを迎えるまでは、参加される方のレベルや思いなど様々と思い、様子を見ながらのスタートでした。ですが、なんと、感動と団結あふれるステージになりました。しゃんしゃん傘踊りの経験者と未経験の方とのバランスを考えた構成にしましたが、「とても勉強になった・参加して良かった」など、嬉しいお言葉をたくさんいただき、本当にホッとしています。さらに、私たちのダンスカンパニー「新井風味」の動画を以前から見てくださっていた方もいて、傘踊りの参考にしていただくと聞いてとても光栄でした。踊りを通じて、社会の役に立ちたい、感動を与えたい。これが私たちの理念でしたので、こうして鳥取の皆さまのお役に立てた事が、なによりも私たちの幸せです。そんな思いを込めて、ゲストパフォーマンスでは、鳥取の特別バージョンとして披露させていただきました。そして、運営の皆さまや劇場スタッフ、皆さまの温かいご対応にも感謝申し上げます。鳥取伝統のしゃんしゃん傘の踊りをもっと広めていきたい気持ちがとても強くなりました。運営の皆さま、劇場スタッフの皆さま、そして参加して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

Let's
Fun!Fun!
Dance!



finale | 出演者・来場者
みんなで踊る
スペシャルステージ

来場者も巻き込み、会場のみんでダンス！ゆるダンによるダンスレクチャーのもと、『鳥取に恋して』を踊りました。会場は一体となり、笑顔いっぱいの中で公演を締めくくりました。



ペンライトの
光が広がり、
最高の景色に



踊る楽しさ、未来への一歩に。
踏み出した一歩が、それぞれの未来へ、次の扉へとつながりますように。

振付・指導者の声



エイジレスダンススクール
(ダンス指導士)

ゆるダン
けい た きょう か
啓太・京香

「みんなとステージからの景色を見たい。一緒に感動したい」
その想いでひた走ったエイジレスダンスステージ。
対象年齢は、0歳から100歳で。できれば、ダンス未経験の方たちを中心に。
そんな半ば無謀とも思えるこの指とまれに、本当に100名の方が集まってくださったことに、まず感謝の気持ちでいっぱいです。
正直いうと、不安な気持ちもありました。「みんな楽しんでくれるかな。感動を届けられるかな」と、心臓からドクドクと爆音がきこえることも何度もありました。
そして、迎えた当日は、想像をはるかに超える感動がありました。
リハーサルから気分上々、みんなの緊張と興奮がいりまじった表情は、今でも思い出すとニヤリとしてしまいます。
エイジレスダンスステージの曲が終わり、みんなの方を振り返ったときの光景は、僕たちゆるダンの特別指定席。今でも思い出すと涙がでます。みんな、本当にいい顔してた...!!!
この日の景色が、感動の時間が、これからのみんなの人生のどこかで、強く背中をおしてくれたり、心をあたためたりすることを願っています。
また、一緒にワイワイ踊りましょう!

来場者の声

どのチームのダンスもステキでした。子どもたちも高校生も大人もみんな生き生きとして輝いていましたね。至福のひとつときをありがとうございました。

友達が出演しているので来ました。そしたら、全部のパフォーマンス感動しました。泣きました!!!!元氣や勇氣、いろんなパワーをもらいました!!最後みんなで踊ったのも一体感が出て楽しかったです!!

普段ダンスはしないのですが、イベントが好きなので来ました。いろんなダンスがあって楽しかったです!中にはダンスに感動するシーンもありました。来年で降開催されるならまた来たいと思います。踊ってみるのもいいかもしれません。ありがとうございました。

とてもよかったです。素晴らしいステージ企画でした。演者がスターに★このような経験をさせてくれる環境・プロの先生方に感謝ですね。おどりがたくなったー!!

参加者の声

家族が踊りました。本人の今までの経験、実力より難しいダンスに挑戦したという事ですが、本番を観ると、自信を持って楽しそうに踊っており、技術的にも気持ちの面でもとても成長を感じました。更にダンスが好きになった様です。出演者、観客共に、忘れられない、素晴らしい思い出に残る公演でした。ありがとうございました。

初めての参加でしたが、こういう大規模なホールで大人数という舞台は初めてのことで、本当に貴重な経験・時間になりました。普段からダンスを踊ってきていますが、より精進して自身のパフォーマンスをあげて、またこの場に立ちたいです!このような企画・時間をいただきありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

子どもが参加させていただきました。毎回のレッスンが本当に楽しかったようで、このFunFunDanceが終わりたくないと言っていました。本番は全力で頑張ってくれていました。親も感動です。先生方がやさしく教えてくださり、スタッフさんも毎回しっかりサポートしてくださって感謝の気持ちでいっぱいです。来年も絶対開催してください!!!我が家は絶対絶対出るそうです!

次世代育成事業

今年の夏は!
FUN! FUN! えんげき!
エンゲキのすすめ
FUN! FUN! 能って楽しい!

音と光の動物園

鑑賞者・活動者の育成、子どもたちの感動と成長の場づくり
発表やチャレンジの場の提供



「えんげき」を使ってみんなと楽しく交流するワークショップを開催しました。

公演名 今年の夏は！ FUN! FUN! えんげき！
 開催日 2025年8月2日(土)～8日(金)
 講師 田上 豊 協力 鳥取県演劇連盟
 部会メンバー 水谷 宣子、はまべゆかり、田中哲哉

会場 ・鳥取市民交流センター 多目的室2・3
 ・エスパック未来中心 リハーサル室
 ・米子市児童文化センター 多目的ホール
 ・みなとテラス リハーサル室兼小会議室



ワークショップ 01

えんげきであそぼう！
～からだことばでわくわく！～

参加対象 小学4年生～6年生
 参加者数 延べ26名 時間 10:00～12:00
 えんげきの手法を取り入れたシアターゲームをいろいろ行って、セリフを言ってみたり、役を演じたりして、みんなで楽しい「えんげき」の時間を過ごしました。

ワークショップ 02

はじめての演劇
～「やってみたい！」からはじめよう！～

参加対象 中学生～高校生
 参加者数 延べ27名 時間 13:30～15:30
 楽しいテキストを使って、劇を書いてみたり、みんなで作ってみたり、演じてみたりと、演劇のはじめの一歩を楽しめるワークショップを体験しました。

講師の声



劇作家、演出家
 田上パル主宰
 江原河畔劇場芸術監督
 たの え ゆたか
 田上 豊

昨年の夏、鳥取県内4市(鳥取市・倉吉市・米子市・境港市)にて演劇ワークショップを実施させていただき、誠にありがとうございました。各会場で多様な参加者の皆さまと出会い、非常に有意義で印象深い時間を過ごすことができました。毎回、名物キャラクターのような参加者が現れることも楽しく、こうした活動を継続することで、さらに豊かな出会いが生まれていく予感に胸が躍ります。

初めての鳥取での実施であり、「演劇ワークショップ」という言葉の持つ敷居の高さもあって、当初は雰囲気や展開を想像しきれない部分もありましたが、実行委員会の皆さまの温かいご支援のおかげで、回を重ねるごとに「鳥取のワークショップは面白い」と実感するようになりました。今後も多くのアーティストが鳥取を訪れ、この土地に暮らす人々の魅力や港町に吹く海風に触れてくださることを願っております。



参加者の声

いろいろなゲームをしながら新しいともだちと協力することができて楽しかったです。初めて、えんげきについて知ったけど、こんな楽しいんだと分かりました。これまでしたことのない形での演劇だったのでたくさん新しい発見がありました。とても楽しくできてよかったです。ありがとうございました。

演劇を使った遊びなどは、舞台慣れや演技力だけではないと感じました。こういった、直感的、感覚的な遊びを通じて、演技への関心は高めていけるのだと感じました。

誰でも楽しく観たり、体験したりできる第1部と、演劇を学びたい・もっと深めたい方のための第2部で構成されたワークショップを開催しました。

公演名 エンゲキのすすめ
開催日 2025年9月27日(土)
会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
協力 鳥取県演劇連盟

講師 劇団 山の手事情社
インストラクター：川村 岳、安部 みはる、谷 洋介、名越 未央
松永 明子、高島 領也、小笠原 くみこ
公演活動のほかに、当劇団が独自に開発・アレンジした《山の手メソッド》を用い、《演劇的教養》を広めるワークショップや講座にも力を入れており、全国各地で行っている。
部会メンバー 水谷 宣子、はまべゆかり、田中哲哉



| ワークショップ 01 |

エンゲキの入口

～子どももおとなも一緒に楽しもう～

参加対象 小学生以上どなたでも

参加者数 40名 **時間** 10:00～11:30

演劇ワークショップと観劇が一緒に楽しめる、とっておきの時間。はじめに普段俳優が行っている練習方法の紹介後、俳優の身体と声のみで表現する、小作品『走れメロス』(原作:太宰治)を観劇しました。

| ワークショップ 02 |

エンゲキの基礎

～俳優の土台をつくらう～

参加対象 高校生以上の演劇経験者

参加者数 35名 **時間** 13:00～15:30

台本の役を演じる前の、俳優に必要な基礎のレクチャーと、身体や声の練習を、さらに深掘りするプログラムを行いました。

講師の声



劇団 山の手事情社
俳優・インストラクター
なご みお
名越 未央

参加者みなさんの“表現に向かう姿勢”に、胸を揺さぶられるシーンが何度もありました。

最初は周りを窺い遠慮がちだったひとり一人が、感情をテーマに歩く《お題歩行》で突然はじけた瞬間。思うさま自由に動き、跳ね、はいずってみたり、叫んでみたり。想像を超えるエネルギーがその場にあふれ始めました。徐々に難しいメニューになり、身体と頭がなかなか思いどおりに動かず戸惑いを隠しきれなくなってきました。それでも何とかつかもうとして、集中がぐっと研ぎ澄まされていく時間。最後の創作発表で披露されたスローモーションの一場面には、「やってやるぜ！」という情熱と表現する喜び、ただそう簡単にはイメージ通りうまくできないもどかしさ、その日感じたたくさんのことがギュッと凝縮されているようで、かけがえのない作品が並びました。

喜びと悔しさが交錯するなかで深まり、広がっていくみなさんの表現の旅路に、ほんの少しでも一緒できたことは何よりの幸せでした。



参加者の声

演劇初心者ですが、そんな私でも参加しやすい雰囲気でも楽しかったです。「走れメロス」、よく知っている物語なのに全く飽きることなく新しい演出に目を奪われてしまいました。体の動かし方は私にとっての課題であったので、今回体の動かし方について沢山のことを教えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。

こんなにしっかり体を使ったワークショップで、楽しくみんなやれたのは初めてかもしれません！学生さんから大人までしっかり演劇を楽しめる時間で参加して良かったです。いつまでも向上心を持っていこう！と思わせてもらいました♡ありがとうございました。

これまでにない体験でした。身体の動かし方をあまく捉えていたなあと大変タメになりました！ありがとうございました！とても良い企画です！

日本の伝統芸能である能楽を、鑑賞や体験を通して気軽に楽しみ、その奥深さと魅力に触れることのできる公演とワークショップを実施しました。

公演名 FUN! FUN! 能って楽しい! ～能「土蜘蛛」解説付き
開催日時 2026年2月1日(日) 開演13:30 終演15:00
会場 米子市文化ホール メインホール
入場者数 567名

出演者 林能楽会
シテ:林喜右衛門 / ツレ:林彩八子、林小梅 / ワキ:有松遼一
囃子:左鴻泰弘、上田敦史、山本寿弥、前川光範
地謡:味方團、田茂井廣道、松野浩行、河村浩太郎、樹下千慧

初めての方でも安心して楽しめて、能楽の「わかる面白さ」をお届けする人気の演目「土蜘蛛」を解説付きで上演。「能ってむずかしい」の先にあるおもしろさを感じる90分をお届けしました。



出演者の声



林能楽会 代表
はやし きえもん
林喜右衛門

この度は鳥取県総合芸術文化祭「FUN!FUN!能って楽しい!」公演、及びワークショップにご参加下さいましてありがとうございました。

普段はなかなか観る事のない能楽公演とそのワークショップという事で、参加される方がいらっしゃるの心配しておりましたが、多くの方にお会いできました事に感謝申し上げます。ワークショップでは、日々の暮らしの中でも案外使える所作や発声方法、斬組を体験してもらいました。参加された皆さまの真剣ながらも楽しんで取り組む姿に、能楽師たちも刺激をもらいましたし、何よりとても楽しかったです。

公演では人気の高い能「土蜘蛛」を、途中で解説を挟みながら上演しました。敷居が高いと言われる「能」だからこそ間口を広げ「あ、わかった!」と思える瞬間を増やしたいなと思ひながら、今回の公演を作りました。その面白さを少しでも鳥取の皆様と共有できたのであれば、私たちとしましても何より幸いです。またお会いできる時を楽しみにしております。最後になりましたが、とりアート実行委員会、米子市文化ホールの皆さま、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。



関連企画 | はじめての能楽体験ワークショップ

開催日時 2026年2月1日(日) 10:00~11:00
会場 米子市文化ホール イベントホール
参加者数 30名

能楽師が直接教えてくれる安心のはじめての能楽体験ワークショップ。すり足やお辞儀、扇の扱い、そして声を響かせる謡、太刀を使った所作まで、本物の能の動きを楽しく体験しました!



来場者の声

能「土蜘蛛」

1時間半の公演は見てみるととっても短く感じられ、夢中で見てしまいました。子どもを連れてとなると気軽に見られないことも多いので今回のような芸術に触れる機会がまたあればと思います。

解説がとっても分かりやすく楽しくみることができました。能楽はもっと静かだゆっくりしたイメージだったので、激しい場面が多く驚きました。はじめての能楽が今回の公演で本当によかったです。

蜘蛛の住みかへの場面転換時、緑の幕の中にまさか蜘蛛が入っているとは…まるでマジックショーのようでした。たくさん蜘蛛の糸に、子どもも大興奮!

参加者の声

ワークショップ

目の前でみる所作はどれも美しく静かだけど、全身を使っていてエネルギーに溢れ、表情豊かであることに感動しました。

能楽を生まれて初めて体験でき感動しました。先生方の熱い想ひもひしひしと伝わりました。能楽についてもっと知ってみたいです。子どもから大人まで楽しめる素晴らしい機会でした。本当にありがとうございました。またぜひ来年もがあると嬉しいです。

能の歴史や奥深さに触れることができました。もっといろいろと知りたいと思いました!!

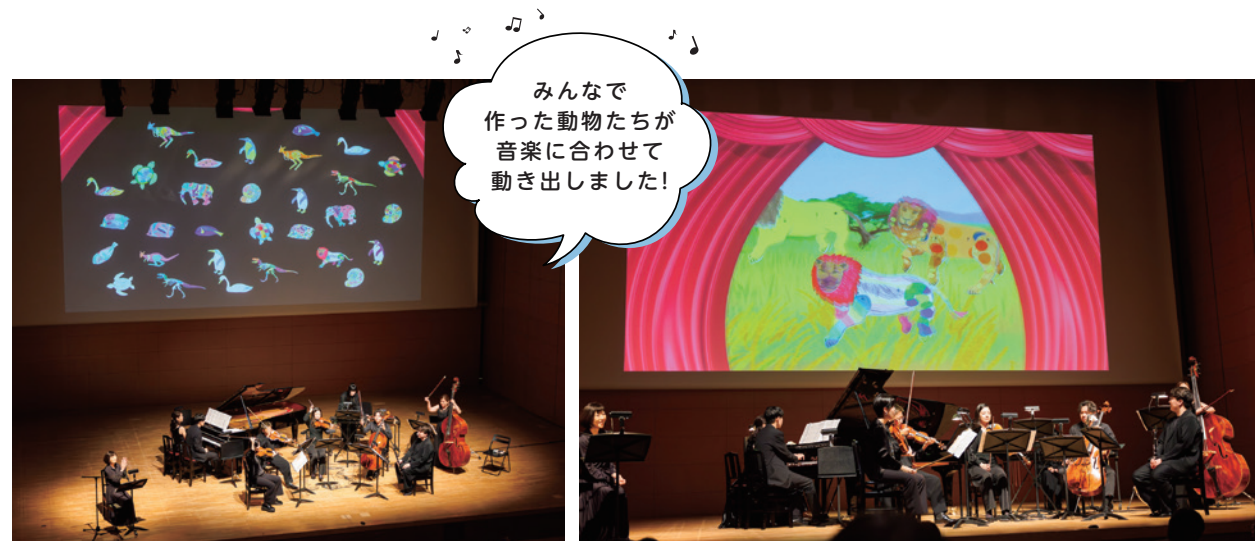
さまざまな参加体験型のアートワークショップや、
演奏と映像・デジタルアートが融合した音楽コンサートを実施しました。

- 公演名** とりアート×鳥取県立美術館 Special Program ワークショップ&コンサート
おいでよ！ココロはずむ音楽会「音と光の動物園」
- 開催日時** 2025年10月11日(土) 10:00~16:00 / 12日(日) 10:30~15:00
- 会場** エースパック未来中心 (小ホール、リハーサル室、アトリウム) 鳥取県立美術館(ひろま、スタジオ、企画展示室)
- 参加者数** アートワークショップ(2日間) 延べ 870名
- 制作協力** 東京藝術大学・共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
- 協力** 鳥取短期大学 幼児教育保育学科



プログラム 01 | アートワークショップ

- 開催日時** 2025年10月11日(土) 10:00~16:00
- 内容**
 - ①「The 花鳥画」展スペシャル企画《どうぶつ大集合！とっとり絵巻物をつくろう！》/鳥取県立美術館
 - ②ペーパークラフトづくり、③粘土のアニメ、④デジタルアート体験/東京藝術大学
 - ⑤ウッドバーニングを楽しもう！&しおり作り/鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会
 - ⑥インターネットクイズ/鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会
 - ⑦缶バッジをつくろう！/第45回 近畿高等学校総合文化祭鳥取大会 実行委員会
 - ⑧“未来”を描こう/とりアート展示「COLOR MIX TORIART 2025」関連事業



プログラム 02 | 企画展ツアー、アートワークショップ、音楽コンサート

- 開催日時** 2025年10月12日(日) 10:30~15:00
- 内容**
 - ①ワークショップ&コンサート 美術館から劇場へ まるっと体験ツアー (美術館企画展とワークショップ&コンサートをまるっと体験するプログラム/小学生対象)
 - ②「音と光の動物園」(動物の謝肉祭)コンサート
- 出演者** ヴァイオリン:竹田 詩織☆、森本 安弘 / ヴィオラ:棚橋 恭子☆
チェロ:宮尾 悠 / クラリネット:春田 傑 / コントラバス:神庭 智子☆
打楽器:小川 智也☆ / ピアノ:秋山 ちひろ☆、伊藤 秀☆ (☆印:鳥取県出身)
[司会] 新井 鷗子(東京藝術大学 客員教授)
- 演奏曲** 「動物の謝肉祭」サン＝サーンス / 「四季」より(秋) ヴィヴァルディ
「ラデツキー行進曲」ヨハン・シュトラウス ※アンコール曲
- 参加者数** まるっと体験ツアー 50名 (小学生26名、保護者等24名) | 「音と光の動物園」(動物の謝肉祭)コンサート 300名 ※ツアー参加者含む



「音と光の動物園」コンサート出演者のみなさま /



来場者の声

ライオンが色とりどりで可愛いと思いました。楽器の音もきれいでした。本物の演奏を子どもに気軽に、しかも親しみやすく見せられてとてもよかったです！子どもだけではなく、親もとても楽しめました★

子どもと一緒にクラシックコンサートを楽しみたいと思って今日は来ました。生で聴く演奏はやっぱり良いですね、心が震えました。小さい子どもも楽しめるようなアニメーションやペタッと座ってリラックスして聴けるような席の用意もありスタッフさんの心配りもありがたかったです。

参加者の声

まるっと体験ツアーで色々な体験をさせていただき、子どももとても楽しんでいました。自分が作ったペーパークラフトの動物たちができた時は「自分の！」とすごくよかったです。ありがとうございました！

子どもが描いた絵が動いて一緒に楽しめてよかったです。一日中楽しめました。

出演者の声



ヴァイオリニスト
竹田 詩織

日本各地で試みられている動物の謝肉祭を子どもたちの動く絵と共に演奏する企画でしたので、鳥取の方々にどのように響くか楽しみにしていました。絵が動くたびに声上がる様子が演奏しながら伝わり、こちらも楽しい気持ちになりました。出演者は鳥取内外の様々な演奏家が集まりましたが、演奏の合間にみなでご飯を食べたりして瞬間に意気投合しました。本番では初めてのアンサンブルにも関わらず息ぴったりの演奏をお届けできたと思います。

とりアートでは毎回ワクワクするような様々な企画が催されていますが、大人から子供まで楽しめるようなものばかりです。クラシック音楽とアートの融合もまたなかなか触れる機会のないものですので、これからもこのような企画があれば是非お越しいただきたいと思います。

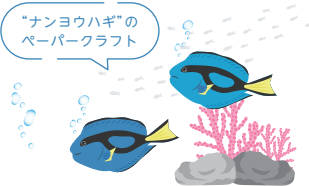
制作チームの声

《音と光の動物園》は、発達障がいのある子どもたちが安心して芸術と出会う場をつくりたいという思いから、東京藝術大学COI拠点で生まれたプログラムで、現在ではすべての子どもたちのために開催しています。音楽・美術・映像が織り重なる空間の中で、芸術をただ「見る」のではなく、全身で「感じる」体験を目指しています。その思いが、今回の鳥取公演へとつながりました。

今回の公演では、鳥取にゆかりのある若手演奏者たちと共にステージをつくり上げました。若手の音楽家たちの存在が公演に温かみをもたらし、子どもたちとの距離をぐっと縮めてくれました。鳥取県の皆さまの温かい受け入れと、地域スタッフの皆さんとの協働があってこそ、この公演は完成しました。心より感謝申し上げます。

また今回は、鳥取短期大学の学生の皆さんがデジタル遊びのサポートに入ってくくださったこともあり、子どもたちとの距離が一層縮まりました。ゼミのご指導をされている宮崎百合先生、落合美貴子先生に心より感謝いたします。

豊かな自然と人のつながりを持つ鳥取には、都市とは異なるアートの可能性が息づいていると感じています。この出会いが小さな種となり、地域の芸術文化がこれからも育っていくささやかな力となれば、チーム一同うれしく思います。



東京藝術大学
《音と光の動物園》
制作チーム

こま ごめ あい こ
駒米 愛子

THANK YOU!

幼児教育を専門に学ぶ学生と高校生ボランティアの皆さんにご協力いただきました！

まるっと体験ツアーでは一緒に各会場を回って、アートワークショップでは子どもたちが思いきり楽しめるよう丁寧にフォロー、そして会場全体が安心してコンサートを楽しめる空間づくりを支えていただきました。若い力が実践の場としても活かされ、地域と教育、そして文化芸術がひとつにつながる取り組みとして実を結びました。

鳥取短期大学 幼児教育保育学科 (2日間・延べ25名)

倉吉北高等学校インターアクトクラブ (2名)



展示事業

COLOR MIX TORIART
2025

県内の多様なアーティストの作品を
県内各地区で巡回展示



鳥取から羽ばたく、未来のアーティストたちの作品展

鳥取県出身・在住の美術を専門に学ぶ学生たちの作品を中心に集めた作品展。
絵画・グラフィックデザイン・建築デザイン・写真・ファッションなど、若手アーティストによる
様々なジャンルの作品が集い、多様な表現を楽しめる企画となりました。

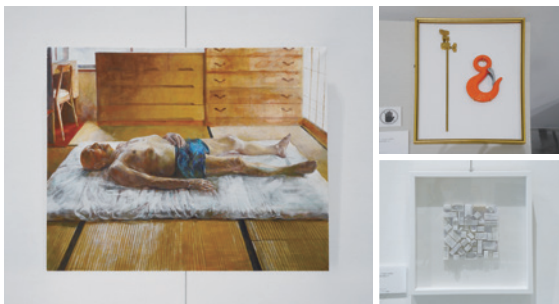
開催日時 / 会場
2025年11月28日(金)～30日(日) / とりぎん文化会館・イベントホール
2025年12月12日(金)～14日(日) / 米子コンベンションセンター・情報プラザ
2025年12月23日(火)～28日(日) / 鳥取県立美術館・県民ギャラリー

入場者数 1,274名

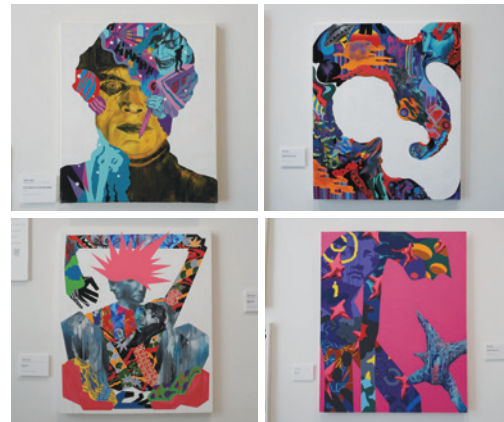


Gallery ギャラリー

会期中には「推し作品」を選ぶ特別企画も実施！
最も多くのファンを集めた3作品には♡マークがついています。



福田 菜月
多摩美術大学 大学院博士前期課程 絵画専攻 日本画研究領域2年
(左) 考察 / 2020制作 日本画(岩絵具、胡粉、雲肌麻紙) ♡
(右上) 起点 / 2024制作 ミクストメディア(金具)
(右下) ハコガタ / 2024制作 ミクストメディア(樹脂模型、アクリル模型)



OBAN TAIKA
東京創形美術学校 ファインアート科 2年
(左上) The Cabinet of Dr.CALIGALI / 2025制作
(右上) ADVENTURE OF 404 / 2025制作
(左下) Rebuild / 2025制作 (右下) NULLUS / 2025制作
acrylic on canvas



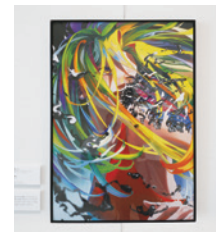
塚本 萌愛、谷田 麻衣、山野 和奏
国立米子工業高等専門学校 3年
自分を仕込む、体を醸す / 2025制作
空間デザイン



**坂本 奈優、田上 大翔、永田 兼大
柴崎 琉輝、霧亀 琥太郎、山根 吉乃
高砂 海希、徳永 惇哉、矢倉 結奈**
国立米子工業高等専門学校
宵を纏う一灯と声の間に開く時間ー
/ 2025制作 空間デザイン



**川原さやか、矢倉 結奈、柳生 健洋
ロビンソン 快 ダグラス**
国立米子工業高等専門学校
時代を超えて人々を紡ぐ 残丘の建築
/ 2025制作 空間デザイン



東 きいろ
嵯峨美術大学 芸術学部 デザイン学科
キャラクターデザイン領域 2年
原点 / 2025制作
デジタル作画(CLIP STUDIO PAINT)



門脇 あずさ
鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年
SNSの炎上、賞味期限は一週間。 / 2025制作
コンピュータグラフィックス



磯江 希林
鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年
夢ー未来の私が生まれるまでー / 2025制作
コンピュータグラフィックス



**榎野 永人、岡本 庵、片岡 芯太、黒川 彩夕
新開 沙耶、安田 泰偲**
国立米子工業高等専門学校
伯嶺 / 2025制作 構造デザイン



**中村 歩夢、越道 玲奈、越田 奏羽、原田 陸登
村上 夏美、井上 真緒**
国立米子工業高等専門学校
澄架(すみか) / 2025制作 構造デザイン

第45回近畿高等学校総合文化祭 鳥取県大会 出品作品



高田 奈々
米子松陰高等学校
誘い手 写真



藤本 雫
鳥取敬愛高等学校
まなざし 写真



和田 溪吾
鳥取敬愛高等学校
Stairs 写真



山形 健二
鳥取県立八頭高等学校
花に添う 写真



濱口 心花
鳥取県立境高等学校
光のゆくえ 写真



上野 穂華
米子松陰高等学校
夕焼けが待っている 写真



古都 侑
鳥取県立米子西高等学校
圧力

写真



松本 紅音
鳥取県立境高等学校
紅に棲む

写真



保木本 千夏
鳥取敬愛高等学校
すれ違う

写真



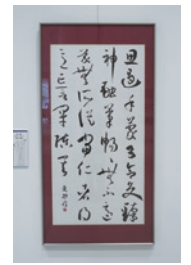
前田 真輝
青翔開智高等学校
PAIN

美術・工芸



仲野 詩梨
鳥取県立倉吉総合産業高等学校
臨 張猛龍碑

書道



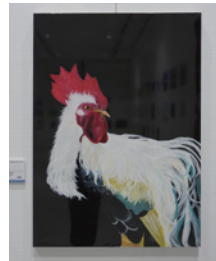
吉岡 更紗
鳥取県立米子東高等学校
臨 書譜

美術・書道



綱本 陽菜
米子松陰高等学校
駅

写真



棟尾 心
鳥取県立鳥取東高等学校
鶏

美術・工芸



池本 さくら
鳥取県立八頭高等学校
再会

美術・工芸



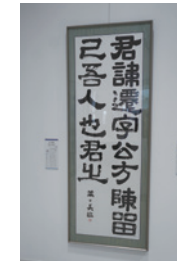
永田 陸海
鳥取県立鳥取中央英高等学校
臨 自書告身帖

書道



繪原 みなみ
米子北高等学校
臨 孔子廟堂碑

書道



小椋 菜々美
鳥取県立八頭高等学校
臨 張遷碑

書道



田中 遥
鳥取県立米子高等学校
臨 自書告身帖

書道



本庄 瑞希
鳥取県立米子東高等学校
かさの世界

美術・工芸



木村 優里
鳥取県立境高等学校
少しの緊張

美術・工芸



松本 夢華
鳥取県立倉吉総合産業高等学校
楽しいお昼ご飯

美術・工芸



足利 彩花
鳥取県立鳥取東高等学校
臨 自書告身帖

書道



青木 琉郁
鳥取県立鳥取西高等学校
臨 牛糞造像記

書道



北村 穂音
鳥取県立青谷高等学校
青春

書道



永見 綺楽
鳥取県立境高等学校
臨 屏風土代

書道



大谷 ひより
鳥取県立米子高等学校
迷霧

美術・工芸



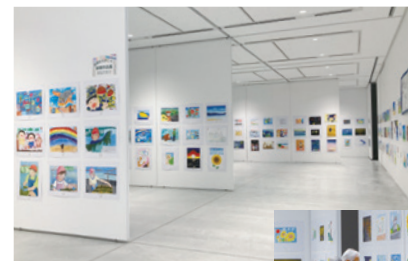
登崎 七海
鳥取県立倉吉東高等学校
スパイスは愛

美術・工芸



岡田 心詞
鳥取県立倉吉東高等学校
生痕

美術・工芸



※中部会場のみ展示
(鳥取県立美術館・県民ギャラリー)

未来をえがこう！絵画作品展

作品 490点
点数 (対象:鳥取県内の小学生)

- 出品校
- 【東部地区】 賀露小学校、面影小学校、岩美西小学校、八東小学校、鳥取大学附属小学校
 - 【西部地区】 明道小学校、義方小学校、車尾小学校、福米東小学校、福米西小学校、加茂小学校、住吉小学校、弓ヶ浜小学校、淀江小学校
 - 【中部地区】 羽合小学校、東郷小学校、三朝小学校、北条小学校、大栄小学校、浦安小学校、聖郷小学校、西郷小学校、河北小学校、明倫小学校、打吹小学校、小鴨小学校

みんなでつくる/
ふせん de ART

好きな色のふせんを貼ったり、アーティストへの応援メッセージや感想を書いたり、3会場を巡回し、数えきれないドットのふせんが、とりアートのロゴを彩りました！



どうぶつ大集合！みんなでつくった！とっとり絵巻物 (P23・アートワークショップより)



出展者の声

とりアートへの参加は今回で3回目。
毎回 世代やジャンルをミックスした総合芸術祭を楽しませて貰っていると同時に鳥取県には多彩な人材が無数におられることにいつも感動します。
今回は同世代の芸大生さんの作品が数点あり 刺激を受け勉強になりましたね。自分は倉吉市出身で、現在 東京の美術学校でファインアート科に在籍し勉強をしています。ポップカルチャーやストリートアート、ファッションから影響を受けたものを 現代美術として再構築し、独自の世界観を構成しながら、作品と向きあっています。
今後も 地域に密着したこのとりアートに、県内外や海外を問わず、多様な人が足を運び 文化芸術に触れ合うことで、鳥取県が潤い創造力豊かな最先端の県となることを願っています！



東京創形美術学校
ファインアート科 2年生
オーバン タイカ
OBAN TAIKA

出展者の声



多摩美術大学
大学院博士前期課程
絵画専攻
日本画研究領域 2年
ふくだ なつき
福田 菜月

この度、鳥取中からアーティストが集まるとりアート展が盛況に開催されましたこととお喜び申し上げます。

長らく東京にて制作活動を行っており、地元鳥取を思いながら過ごす日々でしたが、ご縁があり作品を通して皆様と交流を深める機会をいただき、大変嬉しく思っております。美術に携わっていらっしゃる方も、寄ってみたいという方もこの催しを機に生活の中に小さな感動を発見することがあれば、あるいは少しでも増えれば幸いです。

美術というと少し難しく感じることもあるかもしれませんが、「これが好き」という気持ちや「なんかいいかも」という感性を大切にしていくことがその人の「美意識」であり、またそれらを日々積み重ねていくことによって、唯一無二の「美の術」になると思っています。それは誰にも否定できるものではありません。また、作品を作ることも全てではありません。自分なりの生き方でそれを表現することもあるでしょう。私はそういったあらゆる可能性を肯定し続ける存在でありたいと思っています。

愛すべき鳥取という場所で、とりアート展をはじめとして、皆様のさらなる活躍をお祈りしております。

来場者の声

若い方の感性を感じることが出来た様に思います。未来につながる取り組みに賞賛と期待です。

鳥取から美術の道へ進んだ先輩方の作品を見ることができるといい機会でした。私もいつかここに出品できるよう頑張りたい。

県内の人の作品のみならず、県外に在住している人の作品を見ることができて鳥取県の力が世界でも通用するのではないかと考えるよい機会になりました。

2025年度のとりアートに、たくさんのご参加、ご来場ありがとうございました！



2026年度も、心おどるイベントがいっぱい！！



Special thanks

とりアートに関わる全ての皆さまに心からの感謝を込めて。

大森デザイン室

金沢大学 子どものこころの発達研究センター

萱野 雄一(カヤノ写真機店)

岸本 裕美子(ad-rise)

SOUND OF EARTH

桜井 祥直さん(ワイズフォトスタジオ)

有限会社佐々木運送

株式会社シセイ堂デザイン

庄司 健さん

住吉 裕志さん

第45回近畿高等学校総合文化祭鳥取大会実行委員会

東京印刷株式会社

東京藝術大学 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

東京藝術大学 社会連携センター

鳥取敬愛高等学校Sクラブ

鳥取県立倉吉未来中心(エスパック未来中心)

鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館)

鳥取県立美術館

鳥取湖陵高等学校ボランティア部

鳥取しゃんしゃん祭振興会

鳥取城北高等学校ボランティア部

鳥取短期大学 幼児教育保育学科の皆さま

林 佑樹さん(株式会社リアルコーディネート)

有限会社フライングビーグルコーポレーション

国立米子工業高等専門学校

米子市文化ホール

(五十音順)



鳥取県総合芸術文化祭実行委員

委員 8名 任期 令和6年度～8年度

会長	藤井 浩基	委員	岡崎 隆司
副会長	加藤 京子	委員	尾上 明
委員	池淵 菜美	委員	森田 美穂
委員	伊藤 泉美	委員	澤村 順子

2026年3月現在(委員以下、五十音順)

お問い合わせ

鳥取県総合芸術文化祭実行委員会 とりアート事務局
(公益財団法人鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館内)

TEL:0857-21-8700(案内番号3)

9:00～18:00 ※とりぎん文化会館の休館日を除く



<https://artsfriend.com/>



とりアート2025
「FUN! FUN! アート!」動画
とりアートYouTube
@toriar2025